



Microsoft Exchange Server 2010 向け シスコ データセンター ソリューション

概要

シスコの Microsoft Exchange Server 2010 向けソリューションは、数万のメールボックスにスケーラビリティとパフォーマンスを提供します。Exchange Server 2010 が稼動している企業では、サーバ、ネットワーキング、ストレージ アクセス、および仮想化を緊密に統合するシスコ ユニファイド コンピューティング システムおよびシスコ ユニファイド ネットワーク サービスのメリットを享受できます。シスコの Exchange Server 2010 向けソリューションを活用することで、企業はメッセージング システム全体を 1 つの柔軟性の高いインフラストラクチャに統合して、ベアメタルおよび仮想化コンポーネントの両方を並行してサポートできます。

E メールおよびメッセージング インフラストラクチャの課題

今日の E メールおよびメッセージング インフラストラクチャには次のような課題があります。

- **信頼性および可用性要件**：E メールおよびメッセージング ソリューションは、高い可用性と迅速なディザスタ リカバリを実現する必要があります。
- **モビリティ**：従業員は、どこからでも、どのデバイスからでも、E メールにアクセスできる必要があります。
- **総所有コスト (TCO)**：コストを増加させる原因には、長時間のサーバ導入時間、成長に対応するためのハードウェア追加の必要性、継続的なメンテナンス、アップグレードなどがあります。
- **セキュリティおよびコンプライアンス**：大企業は、証拠開示手続きの規則に準拠するために、Eメールの保持および削除のポリシーを実装し、準拠性をモニタリングする必要があります。

シスコの Microsoft Exchange Server 2010 向けソリューション

シスコと Microsoft、およびそのパートナーは、導入、運用、および最適化のあらゆる側面に対処するライフサイクル アプローチを採用して、スケーラビリティおよびパフォーマンスの高いメッセージング ソリューションの導入を支援します。シスコの Exchange Server 2010 向けソリューションでは、次のようなコンポーネントを用意しています。

- **Exchange Server 2010**: Exchange Server 2010 は、E メール、予定表、連絡先、タスクのサーバ側の機能、情報へのモバイルおよび Web ベースのアクセス、データ ストレージのサポートを提供します。
- **Cisco UCS サーバプラットフォーム**: シスコ ユニファイド コンピューティング システムには、高帯域幅、低遅延、仮想化対応のユニファイド ネットワーク ファブリックが統合されています。ユニファイド ネットワーク ファブリックは、単一のケーブル セットを介してすべてのサーバ I/O を伝送し、ファイバ チャネルや、EMC、NetApp などの業界リーダーのネットワーク接続ストレージ (NAS) にアクセスします。このシステムは統合されたモデルベースの管理を使用しており、マウスをクリックするだけでサーバが自動的に導入されます。シスコ サービス プロファイルは、システムの導入や拡張にかかる時間を短縮し、ダウンタイムの原因になりかねない設定エラーをなくします。
- **シスコ ユニファイド ネットワーク サービス**: シスコ ユニファイド ネットワーク サービスは、企業のコスト削減、ビジネス アプリケーションの全体的なパフォーマンス向上、およびインフラストラクチャ全体の信頼性を実現する Cisco Application Networking Services (ANS; アプリケーション ネットワーキング サービス) 製品およびテクノロジーのポートフォリオを提供します。Cisco ANS 製品およびテクノロジーには次のものがあります。
 - **Cisco Application Control Engine (ACE; アプリケーションコントロール エンジン)**: セキュリティの高い仮想化プラットフォームのためのコンテンツ スイッチングおよびサーバ ロードバランシング機能を提供します。

- **Cisco Wide Area Application Services (WAAS)**: WAN 最適化およびアプリケーション高速化を提供して、アプリケーションの配信を最適化するソリューションです。
- **Cisco Validated Design**: シスコ ユニファイド コンピューティング システムでの Exchange Server 2010 向け Cisco Validated Design は、ソリューションに合わせた最適なデータセンター設計を作成する方法に関する詳細なガイダンスです。

利点

シスコ ユニファイド コンピューティング システム上で Exchange Server 2010 を使用すると、次のことを実現できます。

- Exchange Server 2010 の機能をシスコ ユニファイド コンピューティング システムの能力と組み合わせ、次世代メッセージング プラットフォームを構築する。
- シスコ ユニファイド ファブリック、Intel Xeon プロセッサ、および最大 320 台のサーバと数万のメールボックスのサポートによる高い柔軟性およびスケーラビリティを活用する。
- 完全冗長アーキテクチャにより非常に高い信頼性および可用性を実現する。新しいサーバを数分間ですぐにプロビジョニングできるので、Exchange Server 2010 の新しいハイアベイラビリティ機能を利用してライブ仮想マシンを代替サーバに移行し、スケジュールされたメンテナンスを実施したり、危機的な状況を回避できます。
- メッセージング インフラストラクチャを統合し、最大 384 GB のコスト効率の高いメモリ フットプリントを実現して、全体的なハードウェアおよび電力要件が低いソリューションのメリットを活用することで、投資回収率 (ROI) を向上させ、TCO を削減する。



- ・ シスコ ユニファイド コンピューティング システムの既存のファブリック インターコネクト ペアにシャーシおよびブレードを追加して、サーバ プラットフォームのニーズに対応する。セキュアなマルチテナントおよびロールベース アクセス コントロールが可能な同じサーバ プラットフォームで、すべてのアプリケーションを実行します。
- ・ Exchange Server 2010 の運用の俊敏性とスケーラビリティを高め、複雑さを軽減する。Cisco UCS Manager は、サービス プロファイルとテンプレートを使用して、柔軟なロール ベースおよびポリシーベースの管理を行います。また、IT Infrastructure Library (ITIL) の概念に基づいてプロセスを簡素化します。
- ・ サーバ プロファイルを一貫して作成することで、Exchange Server 2010 の各ロールのサーバ属性を管理する。Exchange Server 2010 ベースのメールボックス、クライアント アクセス、ハブの転送、ユニファイド メッセージング サーバ ロールに、アダプタ、メモリ、CPU、VLAN、BIOS 設定などの適切なサーバ コンポーネントが使用されるように自動的にサポートします。
- ・ アダプタを 1 度インストールし、サービス プロファイルを使用して Exchange Server 2010 サーバ ロールに必要な数のホスト バス アダプタ (HBA) とイーサネット アダプタをプロビジョニングする。Exchange Server 2010 のデータベース可用性グループ (DAG) は、メッセージング API 通信、DAG 複製、および管理用の複数のイーサネット アダプタのメリットを活用します。複数の HBA は、ストレージ アクセス パスの冗長性を Microsoft マルチパス I/O と組み合わせ提供します。
- ・ 仮想マシンおよび物理サーバ ハードウェア上で Exchange Server 2010 を実行するための優れたプラットフォームである Cisco Unified Computing System による仮想マシンのサポートを受ける。

シスコが選ばれる理由

シスコは、ネットワーキングとソフトウェアの共通領域が新しい革新の時代の中心であると考えています。Microsoft とシスコの提携により、オペレーティング システム、アプリケーション、および管理スタックを管理性、スケーラビリティの高いソリューションに統合して、シスコ ユニファイド コンピューティング システムおよびシスコ ユニファイド ネットワーク サービスの価値を拡大しています。Exchange Server 2010 を実行するシスコ ユニファイド コンピューティング システムは、優れたパフォーマンスを提供し、数万のメールボックスをサポートします。

関連情報

シスコの Microsoft ソリューションの詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/microsoft/> を参照してください。